

道路アセットマネジメント政策(橋梁調査会)講座シンポジウム

防災保全に向けたアセットマネジメントの実際と今後の展望

2016 **7/11**

 $13:00 \sim 17:00$

会 場

TKP東京駅前カンファレンス センター ホール4A



[主催]:京都大学経営管理大学院 道路アセットマネジメント政策(橋梁調査会)講座

[後援]:国土交通省、一般社団法人 京都ビジネスリサーチセンター



テーマ

防災保全に向けた アセットマネジメントの 実際と今後の展望

我が国の道路等の社会資本の多くは高度経済成長期に集中的に整備されたため、今後、老朽化が急速に進行し、補修や更新の増加が想定されています。また、地震や豪雨といった厳しい自然環境のなか、安全で安心な暮らしを守るためには、幅広い観点から持続可能なアセットマネジメント政策を立案していくことが求められています。本シンポジウムは、上記のような背景を踏まえて2016年4月に開講された道路アセットマネジメント政策(橋梁調査会)講座が開催するものです。本シンポジウムでは、アセットマネジメント分野をリードする有識者の方からアセットマネジメントに関する取り組みや今後の方向性についてご講演いただきます。特に、今回は、自然災害に対するリスク管理の観点も踏まえつつ、実践的に現場で展開されているアセットマネジメントや今後の課題と方向性について、鉄道の分野も含めて幅広くご講演をいただきます。

プロフィール



木村 嘉富

Yoshitomi Kimura (国土交通省 国土技術政策総合研究所 道路構造物研究部長)

長岡技術科学大学大学院建設工学修士課程修了。建設省中部地方建設局、土木研究所、国土庁、三重県を経て、2008年より土木研究所構造物メンテナンス研究センター上席研究員として、検査技術・コンクリート構造物を担当。2014年より国総研道路構造物管理システム研究官を経て、2016年より現職。道路構造物の設計・施工・維持管理に関する研究開発や技術基準類に関する業務を担当。



横田 聖哉

Seiya Yokota (株式会社 高速道路総合技術研究所 道路研究部 斜面防災研究担当部長)

室蘭工業大学大学院工学研究科修士課程修了。 博士(工学)。1987年 日本道路公団入社。設計・施工および研究所で業務に従事。2008年(株)高速道路総合技術研究所 道路研究部 土工研究室長。2012年 東日本高速道路(株)秋田管理事務所長を経て現職。



室野剛隆

Yoshitaka Murono (公益財団法人 鉄道総合技術研究所 鉄道地震工学研究センター長)

京都大学工学部卒、同大学院工学研究科修了。 博士(工学)。1993年財団法人鉄道総合技術研究所入所。2014年より現職。鉄道構造物の耐震設計、地震防災に関する研究開発に従事。東京大学客員助教授、京都大学非常勤講師、埼玉大学客員教授などを兼務。日本地震工学会理事、土木学会地震工学委員会委員などに就任。



伊藤

Manabu Itou (一般財団法人 橋梁調査会 理事長)

東京大学大学院博士課程修了、工学博士。東京大学講師、助教授を経て、1972年東京大学教授、1991年定年後、埼玉大学次いで拓殖大学教授。東京大学及び埼玉大学名誉教授。2002~2004年国際構造工学会(IABSE)会長、2006~2008年社団法人日本橋梁建設協会会長。2013年から一般財団法人橋梁調査会理事長。



小林 潔司

Kiyoshi Kobayashi (京都大学経営管理大学院 経営研究センター長・教授)

京都大学大学院工学研究科修士課程修了。工学博士。京都大学助手、鳥取大学助教授、教授、京都大学大学院工学研究科教授を経て、現職。国土交通省国土審議会、社会資本審議会、交通政策審議会等委員、土木学会論文集編集委員長、米国土木学会副編集委員長、応用地域学会会長、グローバルビジネス学会理事長、日本学術会議連携会員、IIASA、OECD、WB研究員などに就任。



中谷 昌一

Shouichi Nakatani (京都大学経営管理大学院 特定教授)

京都大学工学部卒、同大学院工学研究科修士課程修了。博士(工学)。1985年建設省入省。国土技術政策総合研究所橋梁研究室長、国土交通省道路局道路保全企画官、国立研究開発法人土木研究所橋梁構造研究グループ長などを経て、現職。